

岐阜県立 GIFU ACADEMY OF FOREST SCIENCE AND CULTURE

森林文化アカデミー



森と木の クリエイター科

2021年度 入学案内

対象 22歳以上



プロフェッショナルになる。森と人と文化の交差点で。





森と木。地域と人。
文化と技術。
すべてをつなぎ、
新しい社会をつくる、
はじめての一步は、
ここから。

岐阜県立森林文化アカデミーの基本理念は「森林と人との共生」。

すべての人々が森林と親しく関わりを持ち、

森林からの恵みを持続的に享受できる社会づくりを目指し、

全国で初めての森林教育・学習機関として、2001年、岐阜県美濃市に開学しました。

森が育んだいくつもの伝統文化や技術、そして人の暮らし。それらを守り、

そして発展させ、新しい時代の生き方、働き方を提案しています。

「森の国」日本では今、国産材が改めて見直され、社会全体で活用が促進されています。

大学卒業程度、社会人経験者を対象とした2年間のプログラム「森と木のクリエイター科」では、

高度な専門知識と、徹底した現地現物主義で、実践力を養います。

その先にある未来は、あなたが創り上げていくのです。

美濃の山間に沿って建つ森林文化アカデミー校舎

森と木のクリエイター科

5つの特徴

1 平均年齢は30代前半 22歳から60歳代まで、幅広い世代が集う

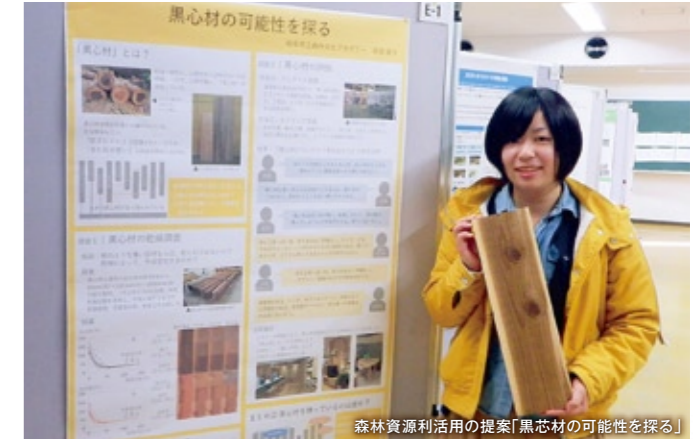
森と木のクリエイター科は、大学卒業または社会人経験者が対象。つまり、大学院のような学科です。入学時の平均年齢は34歳。(2019年度末集計) 森や木に関わる仕事がしたい、地域社会に貢献したい、と考える人が、スキルを身につけるために全国から集ってきます。前職で身につけたスキルも、新しい生き方や働き方に必ず役立ちます。



生木で木工する「グリーンウッドワーク」

4 社会の課題解決と自らの夢の実現をめざす 課題研究

クリエイター科の学生は2年次になると、自ら課題を設定して研究に取り組みます。社会人経験がある学生も、大学卒業後すぐアカデミーにやってきた学生も、テーマは「自分が学んできたことを生かして、社会の課題をどう解決できるか」。1年間をかけて実践する課題研究は、卒業後の就職や起業へ向けた助走でもあります。



森林資源利活用の提案「黒芯材の可能性を探る」

2 クリエーター科学生数:教員数=2:1の少人数制 進路に合わせて組み立てるカリキュラム

全学生数は80人。その半分がクリエイター科で、学生と教員の割合は2:1。県立の学校ならではの質沢な学びの環境が用意されています。少人数の強みを最大限生かして、活発なディスカッションや実習が行われます。カリキュラムは画一的なものではなく、学生1人1人がめざす進路に合わせてチョイスし自ら組み立てていきます。大学や社会人経験を経て、目的が明確になっているからこそできる学び方です。



少人数制で密度ある学び「樹木学実習」

5 ドイツ・ロッテンブルク大学との交流で 国際的な視野を身につける

平成26(2014)年、森林文化アカデミーはドイツ・バーデンビュルテンベルク(BW)州のロッテンブルク林業大学との間で連携協定を締結しました。林業、森林環境教育、木造建築など、アカデミーと同じような学科構成を持ち、州の森林官(フォレスター)をはじめとする人材育成を行っている大学です。両校の間では教員同士の交流、研究活動の実施、学生の相互派遣などを行っています。ドイツに学び、グローバルな視野を獲得できます。



学生同士がお互いの国の専門分野を深め合う「日独木造建築ワークショップ」の様子

3 森と木をキーワードにつながる 他校にない幅広い分野とネットワーク

林業、森林環境教育、木造建築、木工という異なる4分野が繋がっている学校は、全国でも他にありません。森から木へ、さらに人の暮らしへと続く流れの中で学ぶからこそ、深く理解できることがあります。また、豊富な森林資源を生かした林業が盛んなことに加え、飛騨の匠の歴史が示す通り、木材利用の面でも優れた産業があります。県内市町村と連携協定を結んでおり、地域のさまざまな産業とのつながりも、岐阜県ならではの強みです。



年齢も出身も経歴も様々な人材が全国から集い、大切な仲間になっていく2年間の学生生活

林業専攻

森林利活用分野

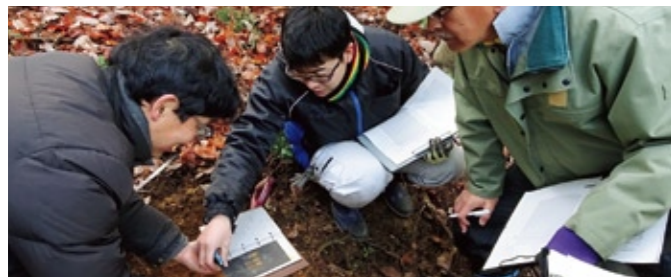
Forestry

森林の多様な機能を高度に発揮させ維持することのできる森林経営の専門家を目指す

林業専攻では、多様な森林経営を構築するための考え方や技術を学びます。森林が持つ木材生産機能と様々な公益的機能を発揮させるには、健全な森林経営と適正な施業技術が欠かせません。また、これからの林業界には木材生産・木材流通の多様性が求められます。こうした要請に応えるためには、中・長期的な視野に立った森林施業に立脚した森林経営が必要であり、また、木材需要と木材供給をつなぐコーディネートが重要となります。多角的な視点で森林・林業・木材流通などを学び、これからの時代をリードする専門家を目指します。



森林管理計画の現地検討



特色
1

エビデンスをもって多様な現場に応えられる力を身につける

自然科学を基礎とした技術的合理性、木材需要を考慮した経済的合理性を根拠とする、現場対応型の施業技術を学びます。



特色
2

現場で今まさに生じている課題に取り組む

例えば獣害対策など、いま現場で起きている問題を解決するための方策を理論と実践の両面で学びます。



特色
3

豊富な施設、機材を使った現物の学びを学内で提供

高性能林業機械、集材機、製材・加工施設から炭窯まで、豊富な施設、機材等を有し、林業の一連の流れを学内で実習できます。



特色
4

地域の行政、林業・林産業関係者が学びを支援

地域の行政や林業・林産業関係者との連携、協力により、プロジェクトや試験研究への参加など、様々な実習フィールドが確保されています。

森林環境教育専攻

森林利活用分野

Environmental Education

森の空間と資源を活かした「教育」「保全」「地域づくり」のプロを目指す

「森づくりは、人づくり・地域づくりから始まる」をモットーに、森林空間を多面的にとらえ、森のすばらしさを「伝え」、地域の森を「デザイン&保全する」プロを育成しています。「コミュニティと起業」「里山マネジメント」「森林教育」「森のようちえん&パーマカルチャー」の4つのアプローチに沿って ①基礎から応用までの体験学習 ②自主的な学びと社会実践 ③マンツーマンによる実践研究プロジェクトという3つのステップで学びます。



森と人をつなぐ案内人「インタープリター」



特色
1

コミュニティと起業

多様な森林資源、里山の生態空間、古民家や生活文化を活用して、農山村で新たな生き方・働き方を創造する人を育てます。



特色
2

里山マネジメント

自然科学の知識や生物の同定技術を身につけ、里山をモデルに人と自然の関わりを描き、自然を調査・保全管理できる人を育てます。



特色
3

森林教育

森林空間を利用して野外活動の技術や指導力を身につけ、自然学校や林業事業者などで地域の森林資源と暮らしを繋げることで人を育てます。



特色
4

森のようちえん

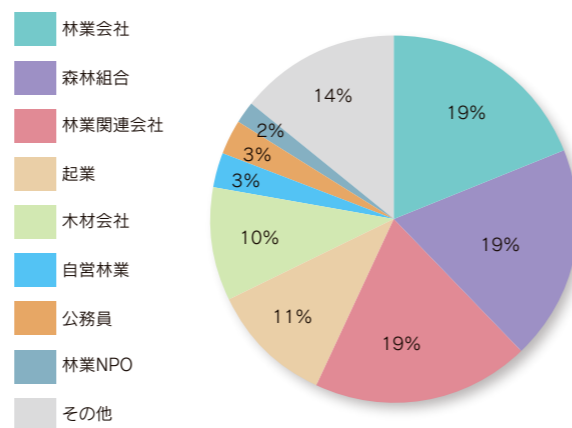
実際の森のようちえんを舞台に、動植物の知識や野外技術、コミュニケーション、安全管理や企画運営など、森の空間を活かした人づくりに必要なスキルを総合的・実践的に学びます。

取得を目指す主な資格

- 森林総合監理士(フォレスタ) ● 森林施業プランナー
- 技術士(森林部門・環境部門) ● 林業技士 ● 森林情報士
- 狩猟免許 など

卒業後の進路

半数を超える卒業生が、川上側で森林管理や木材生産など直接的に林業に関わる仕事に就いています。その多くは、林業事業者や森林組合で現場経験を積み、森林施業プランナーなど次のステップを目指します。家業の林業経営や事業者経営を継ぐ人、NPOを立ち上げ地域の森林管理を担う人もいます。また、川中・川下側において、森林・林業の理解者として、木材流通や木材加工の仕事に就いたり、公務員として林業をサポートする仕事に就く人もいます。



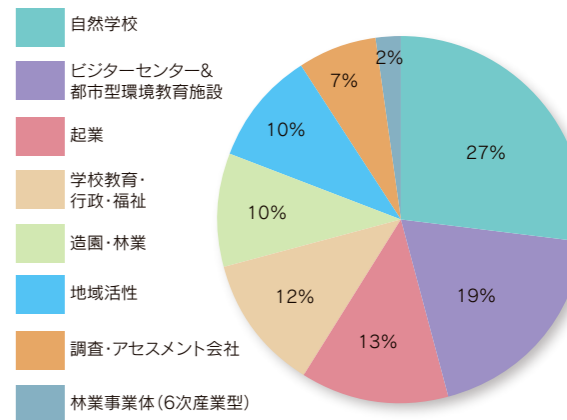
取得を目指す主な資格

- 森林インストラクター ● ネイチャーゲーム指導員 ● キャンプインストラクター
- インタープリター研修 ● 救急救命士 ● 自然観察指導員
- 生物分類技能検定2級 ● 保育士 ● 岐阜県コミュニティ診断士
- ワークショップデザイナー

※カリキュラムで取得を保証するものではありません。

卒業後の進路

全国に4000校ある多様な自然学校スタッフ、森のようちえん指導者・アドバイザー、自然公園のビジターセンタースタッフ、エコツーリズム団体のガイド・コーディネーター、都市公園の指定管理団体、自然環境コンサルタント、森林空間を活用した6次産業型の林業事業者、森林資源や里山資源を活用した起業家(わらび粉、民具アップサイクル、古民家カフェ等)



木造建築専攻

木材利用分野

Wooden Architecture

木造建築の楽しさと奥の深さを知り、新しい時代を見据えた高度な技術を得、一流の設計者を目指す

木造建築専攻は、木の建物の美しさ、快適さ、奥の深さ、そしてそれをつくる楽しさを知ることができる学びの場です。

日本でも唯一の「木造」に特化した、超実践的な学びを行なっています。特に演習林の木を使って建てる「自力建設」は森林資源の「川上」を意識した、他にない貴重な実習です。「実践プロジェクト」では専門教員と共に、実際の実務を通して、高度で最新の技術を身につけ、誰にも負けない特技を持ったプロフェッショナルを目指します。



日本で唯一の教育プログラム「自力建設」



特色 1 実践を通して学ぶ「自力建設プロジェクト」

入学してすぐに、学生が自ら設計・施工で小さな建築物をつくり、演習林から伐出した樹木を製材・墨付け・刻みし、1年かけて竣工します。



特色 2 リフォーム時代の必須科目「木造建築病理学」

木造建築・住宅に関する調査手法や、定量的な性能評価、説明力などの改修技術を体系的に学びます。2006年に森林文化アカデミーから始まった、これからの設計者に求められる必須技術です。



特色 3 社会で求められる実践力「地域実践プロジェクト」

学外の建築実務者と協同で行います。住宅の設計・監理や構造試験、木材強度試験など、実際のプロジェクトに参画します。



特色 4 次世代版設計の先取り「木造建築の性能設計」

現状の設計手法はもちろんですが、将来の実務で役立つように構造設計、省エネ設計、防耐火設計など木造建築の性能設計の手法を学びます。

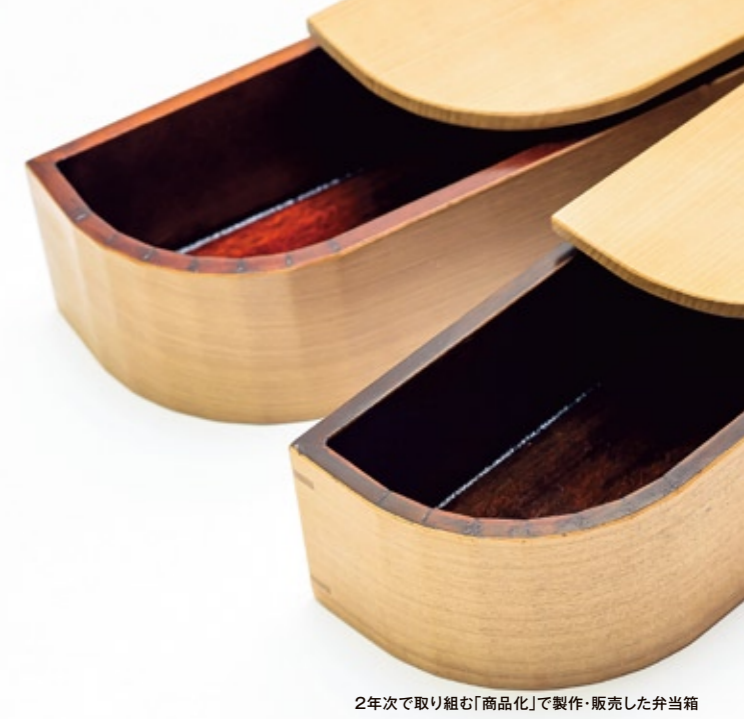
木工専攻

木材利用分野

Woodwork

地域材を生かした木工製品の企画・製作や、木工教室の運営など、資源に技術で付加価値をつけ、地域を豊かにする専門家を目指す

木工専攻では手工具や機械を使い、小物から家具に至るまでの製作全般を学びます。初めて木工を学ぶ人が技術を安全に身につけられるよう、様々な実習が用意されています。しかし技術の習得はあくまで手段。目的は、身近な森林資源により高い付加価値をつけ、新たな人やお金を呼び込み、地域を元気にすることです。その土地ならではの素材や文化を生かした木工製品づくりを実践的に学びます。また、木工教室や木育の活動など、ものづくりを趣味として楽しみたい、森や木に触れて心を豊かに育みたいという需要に応えるため、講座を企画運営できる力を身につけます。



2年次で取り組む「商品化」で製作・販売した弁当箱



特色 1 手工具、木工機械を一から習得、基本技術を磨く

手工具でスプーンや箸、木工旋盤でお椀や皿、木工機械で小箱やテーブル。1年次では自分が使うものを作りながら、基本技術を身につけます。



特色 2 多様な地域材を使った製作実習

スギやヒノキなどの針葉樹から里山の雑木まで様々な木を使った製作実習を行い、商品化まで体験します。日本各地の森林で課題となっている地域材の活用方法を実践的に学びます。



特色 3 全国で人気のグリーンウッドワーク、指導技術を学ぶ

伐ったばかりの生木を斧やナイフで削り、スプーンや椅子などを作る木工です。国内や海外から講師を招いて特別講座も行っており、講座運営のノウハウも学ぶことができます。



特色 4 木工や木育教室を運営する指導スキルを学ぶ

カルチャースクールだけでなく教育や福祉、子育て支援など、幅広い分野でニーズが高まっている木工、木育教室。現場での経験を通して、プログラム開発や指導技術を磨きます。

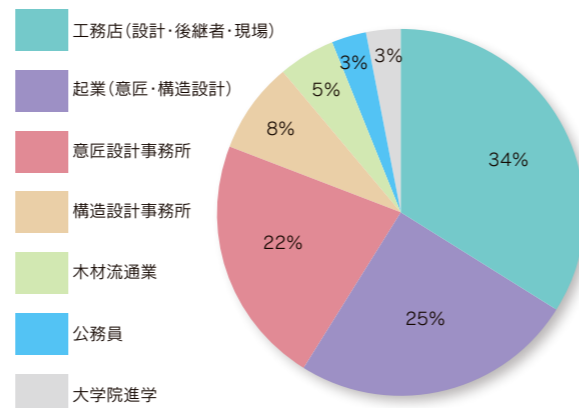
取得を目指す主な資格

- 木造建築士(卒業後、すぐに受験・免許取得可能)※所定科目を修了した場合
- 2級建築士(卒業後、すぐに受験・免許取得可能)※所定科目を修了した場合
- 1級建築士(卒業後、すぐに受験可能。実務経験4年で免許取得可能)※所定科目を修了した場合

卒業後の進路

卒業後は、「木材や林業に明るい」「自分の強みを持っている」という特徴を持った建築士として活躍しています。

- 1) 地元産の木材利用を意識している、2) 木構造に明るい、3) 省エネルギーに強いなどの特徴を持つ設計事務所、工務店へ就職しています。さらには、自分の理念や強み(例えば構造が得意)を活かしての起業や、事業の後継者(例えば家業の跡取り)として活躍する人もいます。地元産の木材の上手な使い手となることは、林業を支え、山村の振興に繋がります。

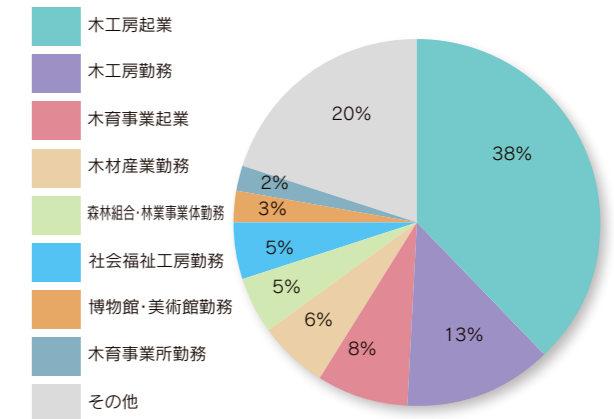


取得を目指す主な資格

木工や木育を実践するために必要な資格は、特にありません。森林文化アカデミーで木工を学んだ卒業生の中には、岐阜県から「ぎふ木育推進員」を委嘱され県内各地でさまざまな木育活動を行っている人たちがいます。

卒業後の進路

一般的な木工の専門学校(職業訓練校など)に比べ、多様な進路があります。卒業直後に木工房を自ら起業して地域材を生かした新しい製品をプロデュースしたり、そのような工房等に勤務したりする人が多いです。木工・木育講座を企画運営するNPO法人を自ら立ち上げる人もいます。木材の流通に関心を持ち、製材所、銘木店、住宅建材の加工業などに勤務する人もいます。また、森林組合で地域材の普及や木育の活動に関わる仕事をする人もいます。



岐阜は木の国、山の国。

標高0mから3000mまで全国有数の多様な森林を有する岐阜県。豊かな森の恵みを活かし、学びのフィールドとして活用しています。



県北部の飛騨地域は、日本有数の家具産地。県南部の美濃地域は和傘や水うちわなど、豊富な森林資源を活かした伝統工芸が盛んです。

森林率第2位、製材所の数は1位！

岐阜は全国でも有数の広葉樹の集積地！丸太や銘木を扱う市場を気軽に見学できます。

過去最多の移住者数を更新！
(H29年度)



重要伝統的建造物群保存地区が建築技術と町づくりを通してコミュニティの在り方を教えてくれる！

33haの演習林まで学内から徒歩1分！

林業や森林環境教育のフィールドがここに！

「川上」から「川下」まで森林資源の流れのすべてを学内で実現。

演習林にはきのこや山菜など豊富な里山資源！



林業

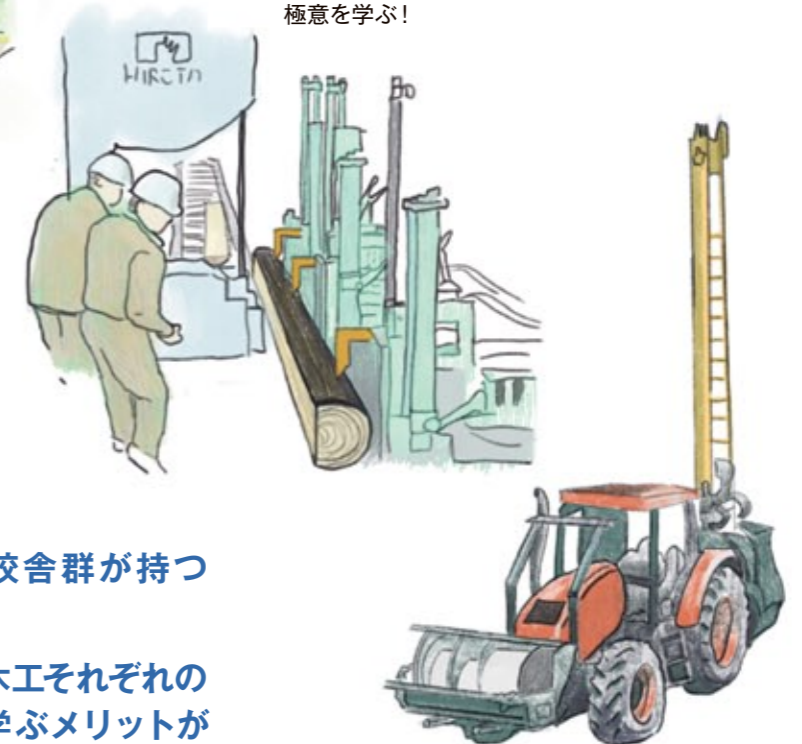
森林環境教育

木工

木造建築

林業から、森林環境教育、木造建築、木工へ。森の木が暮らしに届くまでを一望できる現地現物主義の学びの場。

全国の林業系学校でも唯一の学内製材機で“木”を“木材”にする極意を学ぶ！



もちろん高性能林業機械も充実！

進化する教育施設。

学びに必要な機能を増設！
自力建設でパワーアップする校舎！



すべての人を森につなぐ！森の入り口「morinos」開設！



全国で初の「獣肉解体実習施設」で獣害対策を学ぶ。



世界で14の賞を受賞した木造校舎群が持つ優れた教育力！

林業・森林環境教育・木造建築・木工それぞれの分野で、森林文化アカデミーで学ぶメリットがあります。

教員紹介



WAKUI Shiro
学長 **涌井 史郎**
専門分野 造園・ランドスケープデザイン
Taxus cuspidata イチイ イチイ科イチイ属



IKEDO Hidetaka
林業 **池戸 秀隆** 教授
専門分野 林業機械・森林土木
チェーンソー、高性能林業機械、林業架線を用いた林業実習を行います。
Fagus crenata ブナ ブナ科ブナ属



SAGA Sohei
森林環境教育 **嵯峨 創平** 教授
専門分野 環境社会学・地域計画
山村・里山の生業づくりから持続可能な社会づくりを発信する。
Sapindus mukurossi ムクロジ ムクロジ科ムクロジ属



YOSHINO Anri
木造建築 **吉野 安里** 教授
専門分野 木材利用
ぎ(木・気)つかい、ぎ(木・気)くばり。
Betula platyphylla シラカバ カバノキ科カバノキ属



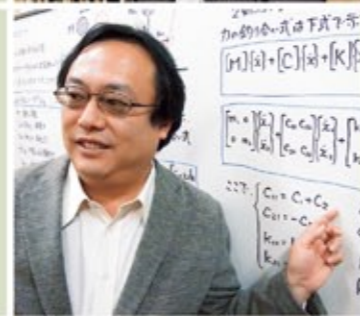
KUTSUWA Masashi
木工 **久津輪 雅** 教授
専門分野 木工
グリーンウッドワーク(生木の木工)、伝統工芸の原材料確保と後継者育成支援。
Quercus crispula ミスナラ ブナ科コナラ属



TSUDA Kaku
林業 **津田 格** 教授
専門分野 菌学・線虫学
きのこなどの特用林産物の利用と森林保護。菌を通して森林利用を考える。
Alnus matsumurae ヤハズハンノキ カバノキ科ハンノキ属



YANAGISAWA Nao
森林環境教育 **柳沢 直** 教授
専門分野 植物生態学
里山の自然を守り、育み、有効活用する。持続可能社会は里山から。
Acer mono var. ambigua オニタヤ ムクロジ科カエデ属



KOHARA Katsuhiko
木造建築 **小原 勝彦** 教授
専門分野 木造建築構造、建築振動、住育
伝統構法～新構法の木構造を専門とし、IT技術との融合に取り組んでいます。
Zelkova serrata ケヤキ ニレ科ケヤキ属



MAENO Ken
木工 **前野 健** 講師
専門分野 木工・木工・木製玩具の企画・開発
木工と木工。おもちゃ遊び、モノ作りを通して、街と森をつなぐ。
Sciadopitys verticillata コウヤマキ コウヤマキ科コウヤマキ属



TAMAKI Ichiro
林業 **玉木 一郎** 准教授
専門分野 森林生態学・分子生態学・集団遺伝学
森林遺伝学：遺伝子をツールに樹木の暮らしや歴史を明らかにします。
Quercus acuta アカガシ ブナ科コナラ属



HAGIWARA Nava Yusaku
森林環境教育 **萩原・ナバ・裕作** 准教授
専門分野 自由な遊び & 自由な学び 環境教育 インタープリテーション
森のようちえん、プレーパーク、インタープリテーション、バーマカルチャー。
Magnolia obovata ホオノキ モクレン科モクレン属



TSUJI Mitsutaka
木造建築 **辻 充孝** 准教授
専門分野 木造建築設計・温熱環境・省エネルギー
木を活かす建築設計、健康・快適性向上の温熱環境計画、省エネ計画が専門。
Lindera triloba シロモジ クスノキ科クロモジ属




WATANABE Kei
木工 **渡辺 圭** 講師
専門分野 木工・家具製作
家具作り、木工ワークショップを通じて木材利用、地域材の活用を考える。
Lindera obtusiloba ダンコウバイ クスノキ科クロモジ属



YOKOI Shuichi
林業 **横井 秀一** 教授
専門分野 森林施業(造林・育林) 森林生態
自然に逆らわず生き物の営みにそった森づくりを目指した教育と研究。
Quercus serrata コナラ ブナ科コナラ属



ISAJI Akiyoshi
林業 **伊佐治 彰祥** 教授
専門分野 林業機械・林産・森林獣害
伐ることで活かせる森がある。獲ることで守れる森がある。
Aesculus turbinata トチノキ ムクロジ科トチノキ属



SUGIMOTO Kazuya
林業 **杉本 和也** 講師
専門分野 林業における生産システム 森林作業における生産管理 伐採搬出作業におけるシミュレーション
持続可能な林業は森・人・組織のマネジメントから。
Cerasus jamasakura ヤマザクラ バラ科サクラ属



NIITSU Yutaka
森林環境教育 **新津 裕** 講師
専門分野 森林環境教育、森林空間の利活用、森林施業と安全管理
森の恵みと暮らしを繋げ、森林空間での活動を「特別」から「日常」へ。
Acer sieboldianum コハウチカエデ ムクロジ科カエデ属



MATSUI Takumi
木造建築 **松井 匠** 講師
専門分野 伝統構法でつくる現代の家づくり、古民家再生、空き家対策
木組の家づくり、古民家の再生、建築・ものづくりにおける美術教育。
Acer pycnanthum ハナノキ ムクロジ科カエデ属

特別招聘教授 隈 研吾 (建築家)
市川 晃 (住友林業株式会社 代表取締役会長)
名誉客員教授 三澤 文子 (MS建築設計事務所 代表取締役)
客員教授 石川 道政 (前美濃市長)
扶土 秀平 (職人社秀平組 代表)
小田 忠信 (株式会社クインビーガーデン 代表取締役)
飯島 健太郎 (東京都市大学 総合研究所教授・環境学部併任教授)

超一流の講師陣が、ユニークで高度な学びを提供します。

全学生数80人に対し、
常勤教員が17人。
森と木に関わる
ユニークな専門家たち。
アカデミーだからこそ、
新しい試みや学びが
次々に生まれます。

入学金・授業料

	入学手続き時	前期	後期	計
入学金	282,000円	—	—	282,000円
1年時授業料	—	267,900円	267,900円	535,800円
2年時授業料	—	267,900円	267,900円	535,800円
合計	282,000円	535,800円	535,800円	1,353,600円

給付金制度

岐阜県緑の青年就業準備給付金

卒業後、林業分野※1へ就業し(就業時年齢45歳未満)、その中核を担うことに強い意志を持っている者に対し、在学期間中、1年間に上限150万円(最大2年間)を準備金として給付する岐阜県の制度です。

対象となる就業先業種※1

- | | | | |
|-----------|--|-------|---|
| 林業 | 1.育林業
2.素材生産業
3.特用林産業
4.林業サービス業
5.その他の林業 | 林業従事者 | 1.育林従事者
2.伐木・造材・集材従事者
3.その他の林業従事者 |
| 木材・木製品製造業 | 1.製材業、木製品製造業
2.造作材・合板・建築用組立材料製造業
3.木製容器製造業(竹、とうを含む)
4.その他の木製品製造業(竹、とうを含む) | | |

美谷添奨学金

支給額 年額 105,000円
支給期間 1年間(1年時または2年時)
対象者 1学年1名ずつ
(著しく優秀と認められる者)

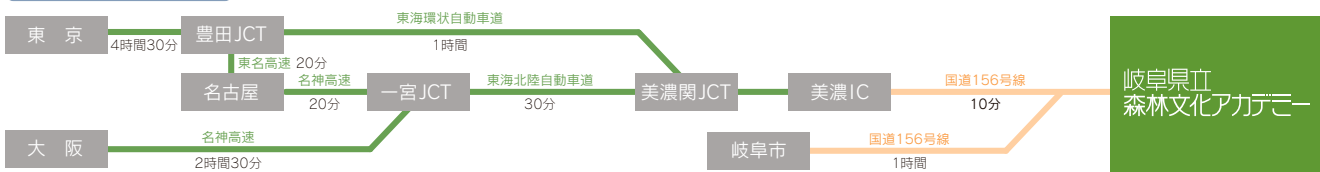
岐阜県立森林文化アカデミー特別給費生制度

支給額 年額 560,000円
支給期間 1年間(1年時または2年時)
対象者 1学年2名ずつ
(著しく優秀と認められる者)

※ 記載した奨学金制度・給付金制度は令和2(2020)年度の予定であり、変更される場合があります。
※ 詳しくは岐阜県公式ホームページ「岐阜県緑の青年就業準備給付金について」をご覧ください。

Access

自動車



公共交通機関



岐阜県立森林文化アカデミー

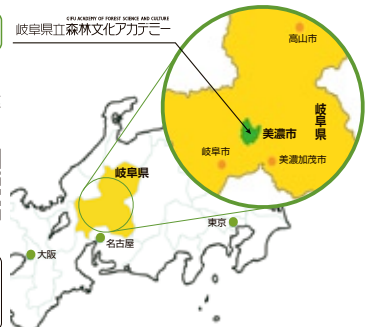
GIFU ACADEMY OF FOREST SCIENCE AND CULTURE
〒501-3714 岐阜県美濃市曾代88番地
TEL 0575-35-2525 FAX 0575-35-2529
E-mail info@forest.ac.jp

ウェブサイト Web site

森林文化アカデミーについてもっと詳しく！学校のポリシー、入試情報、授業の様子や卒業生インタビューなど内容充実のHPです。

<https://www.forest.ac.jp/>

Facebook @gifu_forest_ac



募集要項の請求

メール、電話等にて森林文化アカデミー事務局まで請求(無料)してください。または、アカデミーホームページから様式をダウンロードしてください。